

働く人の声を届けます

【山形労働局】

仕事の魅力発信!

「運輸」の仕事について、どんなイメージを持っていますか？
チャレンジしてみたいけれど、実態がわからなくて不安…、
という方も多いのではないのでしょうか？
そこで、実際に「運輸」の現場で働いている方々にお話を伺いました。
現場のリアルな声を通して、「運輸」の仕事の魅力をお伝えします。

運輸

Transportation workers
Real Voice!

異業種から憧れの運転士へ！ 未経験でもチャレンジできた。

山交バス株式会社

運転士（5年目）



子どもの頃、手を振ると振り返ってくれるバスの運転士さんに出会い、ずっと運転士に憧れていました。しばらく異業種で働いていましたが、運転士への憧れを捨てきれずに、転職を決意しました。当社には内定者に対して大型二種免許取得の費用を全額負担する制度「バス運転士養成制度」があります。その制度を利用して、面接・内定後に大型二種免許を取得し、無事に入社できました。基本訓練や社内研修も充実しており、普通免許しか持っていなかった私でも、未経験から不安なく運転士になることができました。

初めは車幅や長さの感覚を掴めず四苦八苦しましたが、先輩や同僚にアドバイスをもらい、乗り越えることができました。現在は市内を回る路線バスを運転していますが、お客様に話しかけて頂ける事が嬉しく、やりがいを感じています。憧れの運転士として、自分のように手を振り返ってくれる子どもたちに手を振り返せることが何よりも嬉しいです。

育児と両立して長く働ける環境！ 若い女性社員も増えています。

第一貨物株式会社

総務課長（29年目）

総務課長として全体の労務管理をしており、様々な部署が連携し円滑に業務を行うためにサポートするのが主な仕事です。「社員同士がフォローし合える体制作りのため、一人の社員が色々な仕事をできるように」という方針から、私も他部署を経て総務の仕事に従事しています。

当社の育児休業は女性の取得率100%、復帰率も100%！皆さん育休前と同じ部署に復帰しています。社員同士がフォローしあう社風のおかげもあって、私も育休を利用し、復帰後も育児と仕事を両立することができました。他にも介護休暇、所定外労働の免除や時間外労働の制限、短時間勤務等の制度が整っていたり、小荷物メインの街中への配達員や小型バン型の車両ドライバーに女性を起用するなど、女性が活躍できる場を会社全体でバックアップしています。女性の求人も積極的に行っており、作業職やドライバーには若い女性も多いので、今後様々な制度を利用して活躍を続けてくれることが楽しみです。



貸切バスの運転士を目指して… ステップアップできる環境。

山交バス株式会社

運転士(4年目)



大型観光バスの運転士に憧れと魅力を感じ、運転士を目指しました。現在は主に、山形市内の路線バスと山形～仙台線高速バスを乗務しています。運転の事、車両の事、技術的な事など、わからない事は上司に相談すればいつでも丁寧に優しく教えてくれます。休憩時には先輩や同僚と仕事以外のたわいもない話で盛り上がったり、コミュニケーションが取りやすい職場です。希望を出して休日も取得できるので、働きやすい環境だと感じています。

当社には、まずは路線バスの運転士として十分な経験を積んだ上で、更なる研修でスキルアップしていき、大型バス、貸切バスの運転士として認定されるという「ステップアップ制度」があります。私も将来は貸切バスの運転士として、たくさんのお客様を乗せて全国各地にお連れできるように、日々安全運転を心がけて頑張っています。

無くてはならない物流の仕事。 社会に役立つ、誇りある仕事です。

第一貨物株式会社

人事部次長(24年目)

ドライバーやネットワーク管理、その他様々な業務を経て現在は人事部の管理職をしています。物流はモノを運ぶだけではありません。お客様と対話し、悩みを解決する仕事です。一人では不可能な事をチームワークを発揮し協力して実現する、という点が大きな魅力です。社会に役立つ無くてはならない仕事でもあり、東日本大震災の時に東北のお客様を中心に感謝の言葉を頂けた事は、特に誇りに思えた出来事でした。

ここ数年、働き方改革や人事労務関連の法改正が続いており、それに対応しつつ従業員の待遇改善を進めることにやりがいを感じています。「トラックドライバーは長時間労働」というイメージがあるかもしれませんが、2024年にはドライバーの時間外労働の規制が始まります。今後は自動運転等のテクノロジーの進化や、労働時間や賃金の業界格差を無くす法改正の動きもあり、より一層の改善が期待されています。



この業界で長く働けば働くほど、 面白い景色をたくさん見られる。

山交バス株式会社

運転士(14年目)



路線バス運転士を経て、現在は貸切バスの運転士をしています。日帰りから宿泊旅行まで、東北はもちろん関東、関西、様々な所へお客様をお連れします。自分が野球部だった事もあり、甲子園まで学生さんを乗せて行ったことは今でも印象深いです。「快適だった、よく眠れた」と嬉しいお言葉を頂けたのも、路線バスでの下積があつてこそ。貸切バスでは、知らない場所の運転が多く大変ではありますが、毎回違うルートでの新しい発見があり、マンネリ化しないことも魅力です。

最近ではICカード対応で運賃のやりとりもスムーズになりましたし、昔に比べバスの性能もよくなり、疲れにくく運転しやすくなりました。大型バスから見る景色はとて気持ちよく、長く働くほど全国各地の色々な景色を沢山見ることができて、楽しくやりがいがある仕事です。若い方にも、難しく考えずに飛び込んできて欲しいですね。

